

## 令和5年度 公共交通基本計画推進支援事業（利用環境整備事業）【県補助事業】 の事業計画について

### 1. 事業名

広陵町地域公共交通運行再編に係る利用環境整備事業

### 2. 事業目的

交通計画に定めた地域公共交通ネットワーク実現に向け、路線が長大化し、目的地まで必要以上に時間がかかっていた支線については、町内移動の利便性向上を図るため、利用者から予約を受けて運行する、自家用有償旅客運送(市町村有償運送)(以下「自家用有償運送」という。)へ移行します。

また、自家用有償運送の運行に合わせ、町内全ての公共交通をデジタル技術等の活用によりシームレスに繋ぐ広陵町版地域公共交通 MaaS を構築し、自家用有償運送に AI による配車及び運行経路構築等が可能な予約システムを搭載するなど、利用ニーズに合致した、きめ細かな運行の実現をめざします。

一方、支線を自家用有償運送に移行させることで、町外アクセスの拠点である近鉄大和高田駅への接続便数が減ることから、中央幹線の運行ルート及びダイヤを一部再編し、当該駅への接続を確保します。

当該運行再編に伴い、AI 予約システムを含む広陵町版地域公共交通 MaaS の構築、中央幹線のバス停及び車内、自家用有償運送の乗降場所の利用環境整備を実施し、利用者の利便性向上を図ります。

### 3. 事業内容

#### (1) 広陵元気号中央幹線バス停標柱改修

中央幹線のバス停標柱について時刻表及び路線図の修正を行い、支線沿線に設置している既存バス停については路面標示と合わせ、自家用有償運送の乗降場所（地域の拠点となりうる場所を想定）に改修・設置します。

#### (2) 広陵元気号乗降場所サイン設置

自家用有償運送の乗降場所を路面標示する予定であり、町内約 150 箇所を予定しています。設置するには、停留所名以外に停留所番号を記載するなど分かりやすい標示にします。

#### (3) 広陵元気号利用パンフレット作製

広陵元気号中央幹線の再編及び自家用有償運送導入に伴い、時刻表、運行マップ及び利用方法などを一体化させた公共交通の利用促進を図るためのパンフレットを作製し、全戸配布を予定しています。

#### (4) 広陵元気号運行データ作製

運行ルート及びダイヤが変更となる中央幹線について、車内アナウンスデータを改修します。

#### **(5) 広陵町版地域公共交通 MaaS 構築**

自家用有償運送の運行をより円滑かつ効率的に実施するため、利用予約、AI による配車及び運行経路構築等の機能を備えた予約システムを含め、検索から決済までの一気通貫機能などの機能を有する広陵町版地域公共交通 MaaS を構築します(委託事業者決定)。

#### **4. その他**

町から公共交通基本計画推進支援事業(運行効率化調査検討事業)(県補助金)に申請しており、補助率は 1/2(交付申請額:4,395,000 円)となっています。